

防コミの歩き方



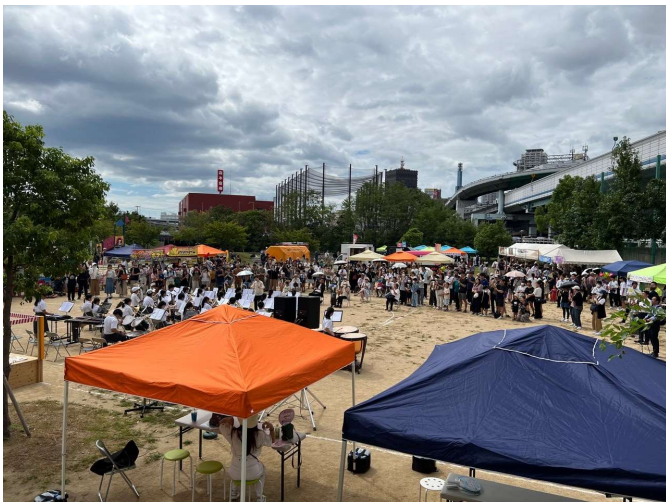
多世代交流から自助共助の生まれるまちづくりを

●脇の浜防コミの紹介

脇の浜地区は、HAT 神戸の西側（中央区）に位置し、マンション等の集合住宅で構成される地域です。震災復興の象徴として誕生した歴史の浅い街で、来年 25 周年を迎えます。居住エリアの東側には、人と防災未来センターや災害医療センター、神戸防災合同庁舎などの拠点となる施設や行政機関も多数あり、神戸市の東部新都心とされています。

●活動紹介

HAT 神戸では毎年秋に ALLHAT という HAT 神戸全域の防災訓練を行っています。防コミは実行委員会の構成団体としてこの行事に関わり、地区の全体訓練と位置付けています。主に災害時給水拠点の開設・設営訓練を実施し、一般参加者にデモンストレーションをしています。他に年末の夜回り、1.17 炊き出し、各地区が集まり防災会議を実施しています。また、今年度は、「脇の浜 人と防災ふれあいまつり」において、「提案型助成」「BOKOMI サポーター制度」を活用し、防災訓練を行いました。



●防災資機材の管理及び非常食の備蓄

防コミとして二つの資機材庫を管理し、防災資機材や非常食の備蓄を行っています。地区内には多数の集合住宅があり、倉庫の備蓄ではとても非常時に対応しきれません。そこで住民の皆さんには各自で備蓄を進めてもらうよう、自助が基本であることの周知を図っております。

●地域社会への貢献

HAT 神戸は阪神・淡路大震災で被災した方々の住まいとして生まれた街です。今も当時被災した方々が多数住んでおり高齢化が進んでいる一方で新たに住まわれた方々との世代間交流の機会が乏しい状況です。そこで防コミとして、多世代交流を通じた震災の記憶継承や、助け合いのため顔の見える関係作りを心がけています。今年度実施した「脇の浜 人と防災ふれあいまつり」には、延べ 3 千人の来場客が集まりました。防災を学ぶ場のみではなく、人が集う場を作ることにも一層注力していきたいと考えています。

●さいごに

脇の浜防コミは今年度より脇の浜ふれあいのまちづくり協議会と一体化されました。これを機により多くの方々に活動を知っていただき、参画してくれる仲間を増やしていきたいと願っています。防災は世代を問わず地域の共通課題なので皆で取り組めばまちづくりの良いきっかけになるはずです。今後は SNS 等も活用し、若い世代にも積極的に情報を発信するように努めます。

（脇の浜ふれあいのまちづくり協議会

防災防犯部会長 石田裕之）